

令和7年（2025年）7月



横須賀市立田浦中学校

家庭学習のしおり

年間指導計画



保護者の皆様へ

〇はじめに

田浦中学校では、学校教育目標を次の通り掲げ、日々の教育活動を行っています。

学校教育目標 ”たたくましく、心豊かに”

～自他共栄のため 考え、判断し、行動する～

健康	健康な体、粘り強い実践、明るい挨拶
協調	心豊かな人間性、社会性、協力と責任
学び	基礎基本の習得、思考力、判断力、表現力、創造性の育成

学校での学びにおいて、各教科での様々な学習活動が行われていますが、こと学力に関しては学校だけでの勉強で一朝一夕に身につくものではありません。帰宅後の家庭学習等も含め、日々の積み重ねが時間をかけて少しずつお子さまの力を育てていくものと理解しています。

本冊子では、お子さまのご家庭での学習習慣づくりのために、保護者の方をはじめ、周囲の方々がどのように関わればよいかをまとめたものです。家庭で取り組める学習内容や学習時間の目安のほか、家庭で大切にしたいポイント等をまとめました。

家庭での学習習慣の形成のために役立てていただき、家庭でのお子さまへの学習支援の参考としてご活用いただければ幸いです。

1年生

《 目指したい学習習慣 》

～小学生で培った習慣を基に、自分に合う学習習慣を見つけ、取り組む～

✎家庭学習時間のめやす：70分

○この時期の特長

中学1年生は、いわゆる「思春期」と言われる時期に本格的に入っていきます。環境の変化もあり、心と体の成長がアンバランスになりがちで、不安や悩みを抱えやすくなります。また、家族に依存したいという気持ちと、家族から自立したいという気持ちが混在しています。

○家庭で大切にしていきたいこと

①予習と復習を習慣づけさせましょう

事前に自分で調べたり考えたりして授業に臨ませましょう。また、学んだ日に、教科書やノート等を使って学習のポイントを整理させましょう。

②学校のプリントを有効に活用させましょう

学校の授業等で使うプリントは、学習のポイントが整理されています。プリントを有効に活用するようアドバイスをしましょう。

③振り返ることを大切にさせましょう

心身ともに急速に成長する時期です。小さな変化を見逃さず、子どもの成長を認め、実際に伝えるようにしましょう。

○生徒へのワンポイントアドバイス

【国語】はっきりと声に出して教科書を読みましょう。繰り返し読むことが大切です。

漢字は何回も書いて、確実に覚えるようにしましょう。

読んだ本の感想を「読書ノート」にまとめたり、友達と紹介し合ったりしましょう。

【社会】教科書を繰り返し読んで、内容の理解に努めるようにしましょう。

新聞を読むなどして社会の出来事に関心を持ちましょう。

【数学】その日の授業で取り組んだ計算問題をやり直すことや教科書に載っている文章問題等を繰り返し解き直す取り組みを進めましょう。

教科のワークを使って苦手な問題を解いたり、解説を読んだりして、理解を深めましょう。

【理科】授業で学習したことをまとめたり整理したりして、ノートづくりを工夫しましょう。

図やグラフなどの資料を見て、なぜそうなるのかを考えるようにしましょう。

【英語】新出語と基本文は声に出しながら繰り返し書きましょう。

教科書で習った本文は、音読をしてみましょう。

家庭学習を習慣化させるためのポイント

1. 生活のリズムを整える

規則正しい生活リズムが日々の子どもの生活を整え、家庭学習の習慣化につながります。あたりまえのことですが、早寝・早起きをする、朝食をきちんと食べる、テレビやゲーム、スマホなどの時間をきちんと決めましょう。

2. 読書をする時間を増やす

読書は子どもの感性を磨き、知識や思考の源となります。まずは、毎日子どもが読書をする時間をつくりましょう。また、地域の図書館に行き、本と出会う機会をつくりましょう。

3. 努力を認め励ます

一つのことには継続して取り組む、やや難しいことに挑戦する、そしてあきらめずにやり抜くことを経験させましょう。

子どもの学習に目を向け、必要な声かけや点検を行い、粘り強い努力を本気で褒めましょう。

4. 勉強しやすい環境をつくる

家族で過ごす時間を大事にし、子どもの話を定期的に聞きましょう。

ニュースなどで、興味のある内容だけでなく、様々な内容を話題に取り上げて、社会への関心を広げましょう。

保護者の方へ

～お子さまとこんなことができますか？チェック表～

- 子どもの夢や憧れについて知っている。
- 子どもの交友関係を知っている。
- 子どものクラス、担任・副担任の先生の名前を知っている。
- 子どもの登校・下校の時刻を知っている。
- 子どもの部活動の大会や学校の行事等を見に行ったことがある。
- 1週間に1回以上子どもを誉めている
- 子どもが今持っているお金の金額を知っている。
- 一日1回以上、子どもと一緒に食事をとっている。
- 子どもと、自分の生き方や仕事について語ったり話し合ったりしたことがある。
- 子どもの将来について話し合ったことがある。

2025年度・第1学年 国語科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：松本 悠

教科の到達目標
 (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に着けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
 (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにするようにする。
 (3) 言葉が持つ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	課業期間	1. はじまりの風(物語)	・漢字小テスト ・各単元末に授業で取り組む最終課題の成果(知識の理解度) ・書写の成果	・各単元末に授業で取り組む最終課題の成果(読み取れたことへの自分の考え)	・振り返りシート ・各単元末に授業で取り組む最終課題の成果(物語、説明文の「読み方」の変容、書写の「気づき」について)
		2. ダイコンは大きな根?(説明)			
		3. 空の詩三編(詩)			
		4. 読書を楽しむ			
		5. 星の花が振るころに(物語)			
		6. 書写			
	定期テスト(中間・期末)	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	無し	
夏休み	既習事項の確認	・漢字ノート	無し	読書記録	
後期	課業期間	1. 「言葉」をもつ鳥、シジウカラ(記録)	・漢字小テスト ・古文単語テスト ・各単元末に授業で取り組む最終課題の成果(知識の理解度) ・意見文の推敲	・各単元末に授業で取り組む最終課題の成果(読み取れたことへの自分の考え) ・意見文の記述内容	・振り返りシート ・各単元末に授業で取り組む最終課題の成果(説明文、古典の「読み方」について)
		2. 根拠を明確にして書こう			
		3. 蓬萊の玉の枝(古典)			
		4. 今に生きる言葉(古典)			
		5. 「不便」の価値を見つめ直す			
		6. 少年の日の思い出			
	定期テスト(中間・期末)	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	無し	
冬休み	既習事項の確認	無し	無し	無し	

横断的学習(主なもの):

- ・総合的な学習の時間で校外学習を行った際のお礼状の書き方を国語で指導する。
- ・書初め(美術)
- ・古文漢文(社会歴史)

授業前の取り組み(ベル学習):

- ・漢字小テストの勉強。

家庭での学習への取り組み方について

- ・学習中の単元の本文をすらすら読めることを目指して音読する。(10分)
→一段落だけでもいいので、読めない漢字をなくしたり、読みづらい言葉をスムーズに読めるまで何回か声に出して読むことが効果的です。次第に文章の内容が頭に入ってきます。
- ・自分の好きな本(小説や評論)を読む。

2025年度・第1学年 数学科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：後藤 恭輔

教科の到達目標	<p>(1) 正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。</p>
----------------	--

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	課業期間	1. 整数の性質	・小テスト ・提出物 (問題集・テスト振り返り ・レポートなど)	・小テスト ・提出物 (問題集・テスト振り返り・ レポートなど)	・提出物 (問題集・テスト振り返り ・レポートなど)
		2. 正負の数			
		3. 文字と式			
		4. 方程式			
	定期テスト(中間・期末)	基礎的・応用的な内容の 確認	基礎的・応用的な内容の 確認	なし	
夏休み	既習事項の確認	なし	なし	問題集	
後期	課業期間	1. 比例と反比例	・小テスト ・提出物 (問題集・テスト振り返り ・レポートなど)	・小テスト ・提出物 (問題集・テスト振り返り・ レポートなど)	・提出物 (問題集・テスト振り返り ・レポートなど)
		2. 平面図形			
		3. 空間図形			
		4. データの分析と活用			
	定期テスト(中間・期末)	基礎的・応用的な内容の 確認	基礎的・応用的な内容の 確認	なし	
冬休み	既習事項の確認	なし	なし	問題集	

横断的学習(主なもの):

- 「正負の数」→社会 時差
- 「比例と反比例」→理科 速さ 電流
- 「データの活用と分析」→社会 各種の統計資料 など多くの場面が考えられます

授業前の取り組み(ベル学習):

- 前回の学習内容の確認
- 問題集に取り組む

家庭での学習への取り組み方について

- まず、教科書の例題が理解できているか確認しましょう
- 用語や記号の意味や基本的な作業が身についているか確認しましょう
- ここまでができたら基本的な問題を多く解いてみましょう
- うまくいかない場合は原因を見つけて対策しましょう
- さらに難易度を高めてチャレンジしてみましょう
- 身の回りのさまざまな「もの」と数学の学習内容の関連に目を向けてみましょう

2025年度・第1学年 理教科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：前田 綾香

教科の到達目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1)自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に着けるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3)自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
---------	--

学期	期間	単元計画 ※授業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	授業期間	1.生物の観察と分類のしかた	・単元テスト ・授業プリントの記述内容(生物の観察プリント、化学実験プリント) ・課題への取り組み(分類の技能、実験技能、観察技能)	・単元テスト ・授業プリントの記述内容(生物の観察プリント、化学実験プリント) ・課題解決のための取り組み ・班やグループでの話し合いにおける発言内容	・授業プリントの記述内容(生物の観察プリント、化学実験プリント) ・見通シートの記述内容 ・テスト反省 ・課題解決のための取り組み ・班やグループでの話し合いにおける発言内容
		2.植物の分類			
		3.動物の分類			
		4.身のまわりの物質とその性質			
		5.気体の性質			
		6.水溶液の性質			
	定期テスト(中間・期末)	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	「知識・技能」、「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた評価	
夏休み	既習事項の確認	なし	なし	自由研究レポート	
後期	授業期間	1.物質の姿と状態変化	・単元テスト ・授業プリントの記述内容(物理実験プリント、地学プリント) ・課題への取り組み(実験技能、観察技能)	・単元テスト ・授業プリントの記述内容(生物の観察プリント、化学実験プリント) ・課題解決のための取り組み ・班やグループでの話し合いにおける発言内容	・授業プリントの記述内容(物理実験プリント、地学プリント) ・見通シートの記述内容 ・テスト反省 ・課題解決のための取り組み ・班やグループでの話し合いにおける発言内容
		2.光、音の世界			
		3.力の世界			
		4.火をふく大地			
		5.動き続ける大地			
		6.地層から読みとる大地の変化			
	定期テスト(中間・期末)	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	「知識・技能」、「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた評価	
冬休み	既習事項の確認	なし	なし	なし	

横断的学習(主なもの):
 ・「植物の生活と種類」→3年技術家庭科「栽培」
 ・「身近な物理現象」→1年数学「比例・反比例」

授業前の取り組み(ベル学習):
 ●前回のプリントを見返すなど前回の復習
 ●問題集(理科の完全学習)を取り組む

家庭での学習への取り組み方について
 ●授業があった日は、何も見ないで今日の流れを説明できるようにする!『なんで?』を説明できるように意識してみよう!
 実際に家族や友達に説明したり、一人で声に出したりしましょう!
 ●できたら、その日のワーク(理科の完全学習)の範囲を解く!一度でも解くことで、テスト前の勉強がぐっと楽になります。ただし、ワークの解き方には決まりがありますので、これに沿って行ってください。
 ① 別冊のノートに問題を解く。わからない問題は空欄にしておく。 ② 赤ペンで○付けをする。
 ③ 間違えた問題、空欄にしてしまった問題は、赤で答えを書き込む。
 ④ 間違えたところやわからなかったところだけ別のノートにもう一度解く。
 ⑤ ①④を繰り返して、わからないところがなくなるまで、繰り返し続けましょう!

2025年度・第1学年 英語科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：小林 瑞木

教科の到達目標	(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
---------	---

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	課業期間	1. 小学校の復習	単語テスト 英作文テスト リスニングテスト CAテストの取り組み：(原稿) 自分自身について英語を正確に用いて書いている。	英作文テスト リスニングテスト CAテストの取り組み：(表現ややり取り) 自分自身について英語を用いて伝えている。	単元ふり返しシートの記述 単語テスト 英作文テスト ノート作り CAテストの取り組み：聞き手、話し手に配慮して英語を用いて伝えようとしている。
		2. be動詞と一般動詞			
		3. 疑問詞			
		4. 前置詞・名詞			
	定期テスト(中間・期末)	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	定期テストのふり返し「知識・技能」、「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた評価	
夏休み	既習事項の確認	なし	なし	ワークブック(英語ラボ)ノート作り	
後期	課業期間	1. 三人称単数現在形	単語テスト 英作文テスト リスニングテスト CAテストの取り組み：(原稿) 日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを英語を正確に用いて書くことができる。	英作文テスト リスニングテスト CAテストの取り組み：(表現ややり取り) 日常的话题や社会的な課題について、事実や自分の考え、気持ちなどを英語を正確に用いて伝えることができる。	単元ふり返しシートの記述 単語テスト 英作文テスト ノート作り CAテストの取り組み：聞き手、話し手に配慮して英語を用いて伝えようとしている。
		2. 人称代名詞			
		3. 現在進行形			
		4. 過去形			
	5. 過去進行形				
定期テスト(中間・期末)	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	定期テストのふり返し「知識・技能」、「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた評価		
冬休み	既習事項の確認	なし	なし	なし	

横断的学習(主なもの)：

・音楽(洋楽)・社会(日本、外国の文化)

授業前の取り組み(ベル学習)：

・ワークブックの問題に取り組む ・小テストに向けた復習

家庭での学習への取り組み方について

- 教科書の新出単語の音読、書き練習をする。
(ノートに エイゴラボ ミニの単語を1単語3回以上書き、練習する。※キーセンテンス、本文)
- 副教材 エイゴラボの問題に取り組む。
習った箇所の問題を解き、復習をこまめにする。
(丸付け直しを必ず行い、できた箇所と見直すべき箇所を明らかにする。)

コミュニケーション能力を伸ばすためには、語彙の充実と、それらの正しい表現方法を知ることが大切です。知識として覚えるだけでなく、自在に使えるようになるように、日頃から「読み」、「書き」を通して英語に触れましょう。

2025年度・第1学年 音楽科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：五十嵐 冬馬

教科の到達目標	<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1)曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)曲にふさわしい表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3)主体的・協働的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、感性を磨き、音楽に親しんでいく態度を養う。</p>
---------	---

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	課業期間	1.校歌を歌おう【歌唱】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創意工夫した音楽表現をするための技能を身につけているか実技観察 ・ ワークシート ・ 実技テスト ・ 小(単元)テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品を感じ取り、表現するための工夫をしているか記述観察(問答含め) ・ ワークシート ・ 小(単元)テスト ・ 振り替えりシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品とどう向き合っているか実技・記述観察(問答含め) ・ ワークシート ・ 振り返りシート
		2.合唱の響きに親しもう【歌唱】			
		3.生きた音を味わおう【鑑賞】			
		4.音楽の秘密を見つけ出そう【創作】			
		5.声の重なりを味わおう【歌唱】			
	定期テスト(中間・期末)	実施しません	実施しません	実施しません	
	夏休み	既習事項の確認	なし	なし	なし
後期	課業期間	1.曲想と音楽の特徴を感じ取ろう【鑑賞】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創意工夫した音楽表現をするための技能を身につけているか実技観察 ・ ワークシート ・ 実技テスト ・ 小(単元)テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品を感じ取り、表現するための工夫をしているか記述観察(問答含め) ・ ワークシート ・ 小(単元)テスト ・ 振り替えりシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品とどう向き合っているか実技・記述観察(問答含め) ・ ワークシート ・ 振り返りシート
		2.アルトリコーダーを吹いてみよう【器楽】			
		3.日本の伝統楽器に親しもう【鑑賞】			
		4.カノンをしよう【器楽】			
		5.情景を想像して歌おう【歌唱】			
	定期テスト(中間・期末)	実施しません	実施しません	実施しません	
	冬休み	既習事項の確認	なし	なし	なし

横断的学習(主なもの):

- ・ 国語(日本語の歌詞による音楽の特徴) ・ 社会(作曲された時代と歴史的背景)
- ・ 保健体育(歌・楽器を演奏するときの体の使い方とスポーツをするときの体の使い方の違い)
- ・ 美術(絵からインスピレーションを得て生まれた音楽)

授業前の取り組み(ベル学習):

- ・ 前回の振り返りからその日に取り組む課題の確認
- ・ 振り返りシートに今日の目標記入
- ・ リコーダー準備・練習

家庭での学習への取り組み方について

- ・ 授業で学んだ技能・知識の復習をする。(特に技能は成績の割合が大きいです)
- ・ 家族の前で歌う・演奏する。(人前で演奏することはとても力になります)
- ・ 日常的な音楽や音を見つける(テレビ・映画などで学習した曲は流れてないか、日常にはどんな音が鳴っているか)
- ・ 5分でもいいので曲を聴くだけの時間を作ってみる。(視覚からの情報に頼るのではなく、耳からのみの情報を得る)
- ・ 世代の違う家族(父母・祖父母など)に流行っていた曲を教えてもらう。(今流行っている曲を教えてみる)

2025年度・第1学年 美術科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：高橋 沙希

教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美しいものにあこがれを持ち、前向きに制作に取り組む。 ・作品や文化財を大切にすることを育てる。 ・道具や用具を大切に扱いケガなく安全に制作する心を育てる。 ・時間を守り最後までやり遂げる心を育てる。 ・自分や友達の作品の良さを認め合い、他者と協力して作品を作りあげる心を育てる。
---------	--

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	課業期間	1.スケッチ(基本形で描く)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本形から形の取り方 ・鉛筆による調子の付け方 ・陰影の取り方 ・書体の正確な形 ・画材の選択と技能 	<ul style="list-style-type: none"> ・スケッチ(スケッチブック) ・本のデザインの発想(ワークシート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの完成度 ・作品の取り組み方 ・作品の完成度 ・振り返りシート
		2.私の〇〇筆箱			
		3.本のデザイン			
	定期テスト(中間・期末)	実施しません	実施しません	実施しません	
夏休み	既習事項の確認	なし	なし	なし	
後期	課業期間	1.君はカラーコーディネーター	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の具の基本技能 ・粘土の表現技法 ・平塗り、絵の具の技能 	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーコーディネーター(ワークシート) ・不思議な意思の発想 ・構図の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの完成度 ・振り返りシート ・作品の取り組み方 ・作品の完成度
		2.不思議な石			
		3.写真をとる楽しさ			
	定期テスト(中間・期末)	実施しません	実施しません	実施しません	
冬休み	既習事項の確認	なし	なし	なし	

横断的学習(主なもの):

- ・配色(家庭科)
- ・レタリング(総合的な学習の時間)

授業前の取り組み(ベル学習):

- ・学習カードの記入
- ・アイデアスケッチを進める

家庭での学習への取り組み方について

- ・生活全般を通して、身近なものの形・色彩の美しさを感じることができるよう授業で投げかけをおこなう。

2025年度・第1学年 技術科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：島田 直也

教科の到達目標	(1) 材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法について理解する。 (2) 製作に必要な図をかき、安全・適切な製作等ができる。
---------	---

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	課業期間	1.材料と加工の技術①	単元テスト 木材作品① ワークシート 工具等の使い方	・木材作品① ・ワークシート ・工具等の使い方 ・学習カード ・作業方法・手順	単元テスト 工具等の使い方 学習カード 作業方法・手順
		2.材料と加工の技術(実習)			
	定期テスト(中間・期末)	実施しません	実施しません	実施しません	
夏休み	既習事項の確認	なし	なし	なし	
後期	課業期間	1.材料と加工の技術②	単元テスト 木材作品② ワークシート 工具等の使い方 製作図のかき方 3DCAD	・木材作品② ・ワークシート ・工具等の使い方 ・学習カード ・作業方法・手順 ・3DCAD	単元テスト 工具等の使い方 学習カード 作業方法・手順
		2.材料と加工の技術(実習)			
		3.これからの材料と加工の技術			
	定期テスト(中間・期末)	実施しません	実施しません	実施しません	
冬休み	既習事項の確認	なし	なし	なし	

横断的学習(主なもの):
美術(1年 木材)

授業前の取り組み(ベル学習):
3分前には授業準備をしておく。(教材や移動教室を含む)

家庭での学習への取り組み方について
学校で学んだことを保護者などに話す(アウトプット)
学校で学んだことと家庭生活とのつながりを確認する。

2025年度・第1学年 家庭科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：外崎 愛莉

教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた手入れ、また縫い方について理解している。 ・衣服の選択、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について構想し、評価・改善・表現する。 ・よりよい生活の実現に向けて、主体的に取り組んだり振り返って実践しようとしている。
---------	---

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	課業期間	1. 私たちの衣生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・道具等の扱い方 ・衣服計画レポート ・単元テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・アイロンがけレポート ・衣服計画レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・道具等の使い方・手順 ・単元テスト ・授業の振り返り
		2. 私たちの住生活			
	定期テスト(中間・期末)	実施しません	実施しません	実施しません	
夏休み	既習事項の確認	洗濯・アイロンレポート	洗濯・アイロンレポート	提出物	
後期	課業期間	1. 私たちの住生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・単元テスト ・道具等の使い方 ・実習(衣服)計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・実習(衣服)計画と振り返り ・住生活レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・授業の振り返り ・単元テスト ・道具等の使い方
	定期テスト(中間・期末)	実施しません	実施しません	実施しません	
冬休み	既習事項の確認	なし	なし	なし	

横断的学習(主なもの):

- ・「衣生活」TPOをふまえた自分らしい着方の工夫⇒美術「色を学ぼう」
- ・「住生活」健康で快適な室内環境⇒保健体育「室内の空気の衛生管理」
- ・「家族・家庭と地域」家庭生活と地域のかかわりを考える⇒総合的な学習の時間「私たちにできること」

授業前の取り組み(ベル学習):

- ・「衣生活」TPOをふまえた自分らしい着方の工夫⇒美術「色を学ぼう」
 - ・「住生活」健康で快適な室内環境⇒保健体育「室内の空気の衛生管理」
 - ・「家族・家庭と地域」家庭生活と地域のかかわりを考える⇒総合的な学習の時間「私たちにできること」
- 授業の道具を準備する。

家庭での学習への取り組み方について

- ・授業で学んだことを家庭及び、日常生活で実践すること。

2025年度・第1学年 保健体育科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：橋本 幸歩

教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 ・運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 ・運動における競争や共同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動する態度を養う。
---------	---

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	課業期間	1.陸上競技(短距離走・リレー)	【知識】 ・学習カードの記載内容 ・保健・体育理論ワークシート ・単元テスト 【技能】 ・短距離走の一連の流れ ・バトンの受け渡し ・クロールの手と足の動き、呼吸のバランス	・学習カードの記載内容 ・保健ワークシート ・課題解決のための 取り組み方 ・班やグループでの 話し合い方	・学習カードの記載内容 ・保健ワークシート ・課題解決のための 取り組み方 ・班やグループでの 話し合い方 ・健康、安全の留意 の仕方
		2.水泳			
		3.器械運動(マット運動)			
		4.保健			
		5.体育理論			
		定期テスト(中間・期末)			
	夏休み	既習事項の確認	なし	なし	なし
後期	課業期間	1.ハンドボール	【知識】 ・学習カードの記載内容 ・保健ワークシート ・単元テスト 【技能】 ・ボール操作と空間に走り込むなどの動き、ゴール前での攻防 ・基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備 ・相手の動きに応じた基本動作や基本となる技、投げたり抑えたりなどの簡易的な攻防 ・音楽に合わせた特徴的なステップや動き	・学習カードの記載内容 ・保健ワークシート ・課題解決のための 取り組み方 ・班やグループでの 話し合い方	・学習カードの記載内容 ・保健ワークシート ・課題解決のための 取り組み方 ・班やグループでの 話し合い方 ・健康、安全の留意 の仕方
		2.ダンス			
		3.柔道			
		4.ソフトボール			
		5.保健			
		体育理論			
	定期テスト(中間・期末)	実施しません	実施しません	実施しません	
冬休み	既習事項の確認	なし	なし	なし	

横断的学習(主なもの):
理科:呼吸器・循環器、家庭科:食事

授業前の取り組み(ベル学習):
整列

家庭での学習への取り組み方について
自分で運動する時間をつくる。